



イエズス会  
聖三木図書館  
開館15周年  
記念号

## 聖三木図書館の発展



イエズス会聖三木図書館長  
マイク・ミルワード

一般向けのキリスト教専門図書館として、イエズス会聖三木図書館は特別です。イエズス会はカトリックの修道会ですが、聖三木図書館の資料収集対象はカトリック教会とその信仰や習慣に限りません。むしろカトリック信仰を中心に、世界とその文化を紹介する役割を担っています。

現在の岐部ホールに移転する前、聖三木図書館はSJハウス（イエズス会修道院）隣の上智会館2階にありました。上智学生にとっては大学図書館の補助的な役割も果たし、キリスト教だけでなく欧米文化を幅広く紹介しました。

私が英語学科の教員をしていた頃、毎年のように英語学科の学生が中央図書館にはない文学書を聖三木図書館で借りていました。また、あまり大きくないSJハウスの図書室にとっても、聖三木図書館が代替りの役目を果たすこともありました。

上智会館が解体され、学外に移転して「イエズス会聖三木図書館」として新しく開館したので、より一般の方が利用しやすい図書館になりました。そして2016年に私が館長に就任してから、二つの大きな出来事がありました。

まず、図書館システムの入れ替えです。苦勞して見つけた新しいシステムは、以前のものよりも聖三

木図書館に合ったもので、機能も多くなりました。特に、蔵書のオンライン検索ができるようになったことで、全国・全世界から蔵書を調べることができるようになりました。

二つ目は、新型コロナウイルスの流行です。初めの頃は感染対策として、利用者の入館を断らなければなりませんでしたが、しかし、館外からの蔵書検索が可能なため、郵送貸出のサービスを始めることにしました。これにより図書館を利用できる人の範囲が大きく広がりました。

聖三木図書館は今年で15周年を迎えます。これまで続けることができたのも、ひとえに皆様のご支援のおかげです。厚く御礼申し上げます。日本唯一の一般向けのキリスト教専門図書館は、これから全国の皆さんのための図書館へと発展していきます。これからの聖三木図書館にも期待しています。

## 開館15周年に寄せて



イエズス会日本管区長  
デ・ルカ・レンズ

イエズス会聖三木図書館の開館15周年おめでとうございます。図書館を支えてこられた館長をはじめスタッフ、利用者、協力者の皆さまに心より感謝申し上げます。

この図書館の名前となっている聖パウロ三木は日本二十六聖人の一人であり、イエズス会の霊性、すなわちイグナチオの霊性を生きた人でもありません。

イエズス会は昨年5月20日から今年7月31日までを「イグナチオ年」として記念し、過ごしてまいりました。閉年こそは盛大に祝うことが出来るだろうと思っていました。最後までパンデミックの影響が続く、静かに幕を閉じました。

それから4か月が経ち、このイグナチオ年が掲げた「全てを新たな目で見る」という目標がどこまで達成されたかを問う時期を迎えています。しかし、その答えが簡単ではないことに気づかれます。それは目標が達成されたとも、何も変わらなかったとも言えないからです。

「新たな目で見る」ことが出来たと言え、このイグナチオ年に聖イグナチオやその霊性についての講座や講演会などが教会で催され、豊かな交流を持つことが出来ました。ローマのイエズス会本部では『霊操』などの写本が修復されて、遺産としての意識が高まり、その修復に和紙が使われたことを考えると日本との関わりも深まったとも言えます。聖イグナチオについての新しい歌や劇、本なども出ました。オンラインの活用によって、寝たきりの方でも、あるいは、遠く離れた場所からでも黙想会や講演会に参加できたり、ミサに与れたり、今まで関われなかった人たちとの関係を深めることも出来ました。

達成できなかったことと言えば、より開かれた広報活動や参加意識の向上だったと思います。思っていた以上に関係者以外への広がりが少なかつたと言わざるを得ません。実際に集まらなくても、オンラインでの参加によって目標が達成できたかのような錯覚もありました。しかし、集まって実際に一緒に何かをする、つまり共同体の体験に置き換えられないことがあるということにも気づかされました。やはり、場所と時間を変えることによっても伝わらないものがあります。それは「巡礼者」と名乗っていた聖イグナチオが伝えようとしたことでもあります。この点を考えるならば、今この時に、その重大さに気づかされたことがイグナチオを通しての恵みであったと言えるでしょう。

これからも聖イグナチオのメッセージを伝え、浸透させていきたいと思えます。



## 聖三木図書館の歴史

1949	ヘルマン・ホイヴェルス神父により「聖イグナチオ教会 付属図書室」として設立
1953	学校法人上智学院に移管 かまぼこ校舎にて「聖三木図書館」開館 初代館長 パーター・クルンバッハ神父就任
1957	上智会館2階に移転
1970 年代半ば	名称が「上智大学聖三木図書館」に
1977	第2代館長 アルフォンス・デーケン神父就任
1998	第3代館長 佐久間勤神父就任
2005 8月17日	移転準備のため長期休館に入る
2007 7月	岐部ホールでの開館準備作業を開始
2007 12月3日	「イエズス会聖三木図書館」開館 カトリックイエズス会に移管 第4代館長 宗正孝神父就任
2016 4月	第5代館長 Br.マイク・ミルワード就任
2019 9月	図書館システムの入替 蔵書のオンライン検索が可能に
2022 12月3日	開館15周年

## 聖三木図書館と私

十五年一昔

イエズス会聖三木図書館職員  
ヨンソン 裕子

今から15年前の2007年12月3日、聖三木図書館は2年に渡る休館を経て、上智大学内から岐部ホールへ移転し、「イエズス会聖三木図書館」として新たなスタートを切りました。開館当日は利用者、関係者の皆様が駆けつけて下さり、館内を多くの方が行きかう光景が目には焼き付いています。私たち職員は忙しさと嬉しさで高揚しながら、利用者の方々に次々と新

しい利用カードをお渡ししていきました。感無量の一日です。  
旧聖三木図書館では貸出・目録・台帳作成など全て紙業務だったため、この移転は単に本を移動する引越ではなく、図書館システムを初めて導入するという大がかりなものでした。システムに関する一切と機械や備品の手配などは、上智大学図書館の職員の方々に全面的にご支援、ご尽力いただき、新しいシステムの形が着々と出来上がっていきました。  
またシステムに対応する膨大な作業のために、私たちは上智大学中央図書館内に場所をお借りして様々な準備を進めましたがとても間に合わず、開館前には多くのボランティアの方々に細かい作業をお手伝いいただきました。



準備不足の新刊本は、サンパウロ書店、ドン・ボスコ社、有志の方々から多量にご寄贈いただき、書棚も整っていきました。そして、マルティン神父様の素敵なセンスで飾られた、三村文蔵画伯の大きな絵やリース・オカーニャ氏の写真が落ち着いた雰囲気醸し出す館内。  
聖三木図書館は、実に多くの方々のお力を借りて歩み始め、15年にわたるご支援、ご協力により、今に至ります。お世話になった皆様に感謝、そして聖三木図書館を利用して下さる皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

学生アルバイトとして

鶴見大学日本文学科 講師  
遠藤 佳那子

学生アルバイトの候補者として初めて聖三木図書館に足を踏み入れたのは、2007年11月末だったように記憶している。開館を目前にして雑然としたカウンター越しに、ヨンソン裕子さんと面会した。こちらんまりとして慎ましやかな館内には、控えめに陽光が差し込んで、とろりと穏やかな空気が満ちていた。以来、経済的、そして精神的拠り所として、聖三木図書館には長年お世話になってきた。気付けば15年、人生の大半を占める歳月が流れていたことに驚く。

学生アルバイトたちの背景は多様である。神学、哲学、文学、史学、時には理数系専門の留学生も在籍した。総じて未熟な私たちに対して、ヨンソンさん、宗正孝先生、マイク・ミルワード先生、ドスポイさんは、各々の得意分野を見出し、信頼して仕事を委ねて下さる。国語国文を専門とする私は、日本文学やギリシタ語学の分野について意見を求められることが多く、日頃から自然とその分野の棚に注意を払うようになった。恐らく学生バイトは皆、同じようにして未熟なりに得意な棚ができていたのではないかと思う。



思えば、私は図書館というものは大規模であればあるほど良いと思っていた節がある。しかし小規模な専門図書館である聖三木では、利用者一人ひとりと対話しながら最適な一冊を探し出すことにこそ、本領があった。専門的な資料を要する方もいれば、キリスト教入門の案内を求める方もいる。データベース全盛の昨今、特定のキーワードを入力すれば誰もが一定の情報を得られる。しかし人間のニーズはもつと複雑で、曖昧で、対話の中から見出されることも多い。専門図書館は知識の収蔵庫であると同時に、利用者の伴走者でもある。そこに聖三木の役割と強みがある。私たちもその一員として、少しでも役に立っていたのであれば嬉しい。



ドイルのミステリー

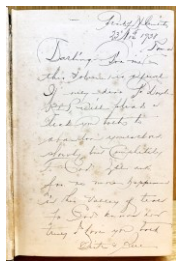
聖心女子大学大学院哲学修士課程  
林 美樹

私は、ローマのグレゴリアン大学霊性神学科で勉強し、卒論でアルペ神父様が日本語で書いた「キリストの道」を紹介したところ、全五巻を英訳することになった。第一巻は、神父様の没後30年に、大学の専門誌 Ignaziana に、公表された。  
聖イグナチオの「霊操」の解説書などで引用が多い。霊操や聖書、アウグスティヌスなど、多岐に渡る。これらは既刊の英訳を引用する。

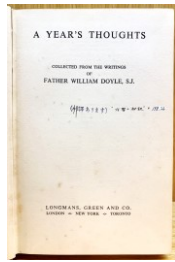
ローマで第四巻の翻訳準備をしていたら、ドイル「成聖の秘訣」からの引用が出てきた。名前の綴りと原題を考える。コナン・ドイルの綴りを参考に、秘訣を mystery と訳し、ネット検索したら、推理小説名が羅列された。やれやれ。  
教授に相談したところ、ドイルというイエズス会士

が5人いた。そこで聖三木図書館の蔵書目録を思い出した。「ドイル」と入力すると、「成聖の秘訣」が見つかり、英語版有りというメモがあった。素晴らしい。メールで連絡すると、目次が送られてきた。ウィリアム・ドイルという第一次世界大戦中に従軍チャプレンとして亡くなった方と判った。

この経緯を話したら、アルペ神父様の列福手続きを担当している神父が驚いた。ドイル神父も列福調査中。第二次世界大戦を経験したアルペ神父が、ドイル神父に魅かれたのも納得がいく。教授は、「まだミステリーは続くかも。聖ミキ図書館だろ？」と、私の名前からめた冗談を言った。



献辞



『成聖の秘訣』



帰国後、聖三木図書館で、本を開いて驚いた。英語版には、戦前のアイオワのシスターからの献辞があった。アルペ神父様が日本に持ち込んだのか？図書館の記録を調べて頂いたが、未解決。教授は、これを「聖ミキのミステリー」と笑った。  
翻訳は順調に進み、全五巻を完訳した。これから校正等、様々な作業を経て、やがて出版される。アルペ神父様の列福に間に合えばと思っている。

ウィリアム・ドイル神父の列福調査開始セレモニーが11月20日、「王であるキリスト」の日曜日に、アイルランドで行われた。

同じく列福調査中のペドロ・アルペ神父は、日本での調査も行われている。霊性でつながる二人のイエズス会士の列福決定の発表が待たれる。

今季のおすすめ図書

2022年下半期の新着図書の一部をご紹介します。

	タイトル	著者			
			11	長崎の原爆で終わった抑留	M.E.グレゴリー
1	愛を見つめて 高め合い、乗り越える	J.ガラルダ	12	アンジェラスの鐘 希望への招き	加藤美紀
2	血の畑 宗教と暴力	K.アームストロング	13	短く簡単な祈りの方法	ギュイヨン夫人
3	その「宗教」は本物か 旧統一教会の不都合な真実	和賀眞也/ 花田憲彦	14	キリスト者の祈り 教皇講話集	教皇フランシスコ
4	「愛」の思想史	山本芳久	15	犠牲者意識ナショナリズム	林志弦
5	旧約聖書がわかる本	並木浩一/奥泉光	16	五色のメビウス 「外国人」とともに にはたらき ともに生きる	信濃毎日新聞社編
6	真理の霊が来るとき 復活者キリストを証言する新約聖書	市川喜一	17	老いと祝福	石丸昌彦
7	神の物語としての聖書	J.ゴールディング	18	希望の教室	J.グドールほか
8	良き力に不思議に守られて	宮田光雄	19	羊皮紙の世界	八木健治
9	最も偉大な祈り 主の祈りを再発見する	J.D.クロッサン	20	キリスト教美術史	瀧口美香
10	ウクライナ侵攻とロシア正教会	角茂樹	21	言葉を植えた人	若松英輔
			22	教養としてのダンテ「神曲」地獄篇	佐藤優

## 聖三木図書館からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部サービスを変更しており、ご不便をおかけしております。状況によりサービス内容を変更する場合がございますので、最新の情報はホームページ（Facebook）、留守電メッセージにてご確認ください。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 返却

期限内の返却が難しい場合は、お電話またはお問い合わせフォームからご連絡ください。

返却方法：岐部ホール1F 返却ポストに直接投函  
または郵送（郵送方法不問）

送り先： 〒102-0083  
東京都千代田区麴町6-5-1  
岐部ホール2F 聖三木図書館 宛

### 問い合わせ

お問い合わせは以下の窓口より受け付けています。サービス状況の確認、調べている事柄に関連する資料の紹介や、調べ物のお手伝いをすることもできます。気になることがございましたら、お問い合わせください。

#### ☎お電話から

電話番号：03-3262-0364  
受付時間：11：30～17：00  
（木曜・祝日・毎月末日休館）

#### ■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、お問い合わせ内容をご記入ください。  
質問内容によっては回答までにお時間を頂戴する場合がございます。



←問い合わせは  
こちらから

聖三木図書館報『みき』第14号

\*\*\*\*\*

イエズス会聖三木図書館

〒102-0083  
東京都千代田区麴町 6-5-1 岐部ホール 2F  
TEL: 03-3262-0364  
ホームページ:

[http://www.jesuits.or.jp/~j\\_seimikibun/](http://www.jesuits.or.jp/~j_seimikibun/)

題字：Sr. 北爪悦子(師イエズス修道女会)

### 開館

開館時間 11：30～17：00  
入館人数と利用時間の制限を行った上で、開館しています。入館予約は必要ありません。  
書架閲覧、閲覧席の利用、資料の貸出等ができます。入館時に、消毒・検温、利用カードを確認します。

### 郵送貸出

#### ☎お電話から

貸出を希望する資料（タイトル・著者など）、利用カード番号（またはお名前）をお伝えください。

#### ■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。  
ホームページの利用案内で郵送貸出について詳しくご案内していますので、ぜひご確認ください。  
新規登録と郵送貸出をご希望の方は、ホームページの利用登録をご覧ください。



←郵送貸出  
申込はこちら  
から



←聖三木図書館  
HP（利用案内）

### 利用カードの申込・更新

聖三木図書館友の会発行の「聖三木図書館利用カード」（有効期間1年）の新規登録及び更新手続きは、開館時間内に館内カウンターで、または来館せずに行うこともできます。

来館せずに登録をご希望の方は、ホームページの利用登録をご覧ください。新規会員登録フォームをご入力いただくか、お電話にてお問合せください。

年会費 一般 2,000円  
学生 1,000円  
賛助会員 5,000円・10,000円

免許証・保険証など（学生の方は学生証）をご提示いただきます。